

滋賀県介護のイメージアップ施策検討部会 (令和元年度 第4回)

- 日 時 令和2年2月12日(水) 14:00~16:00
- 場 所 滋賀県大津合同庁舎7-A会議室
- 出席委員 後藤委員(部会長)、東委員(副部会長)、本條委員、樋口委員、松井委員、北村委員、八田委員、森本委員、上村委員、澤村委員、河岸委員、鈴木委員、楠神委員、藤田委員

オブザーバー 寺田氏

○ 議題

- (1) イメージアップ施策にかかる啓発イベントおよびマスメディア活用の意見交換について

1. 挨拶

【事務局】

- 今回を含め今年度の開催はあと2回ということで、具体的に各団体でどういったことをしているのか、また役割分担の議論をお願いしたい。

2. 議題(1) イメージアップ施策にかかる啓発イベントおよびマスメディア活用の意見交換について

【部会長】

- 各団体からご質問やご提案等あるか。各団体の状況をお伝えいただければと思う。

【委員】

- 介護福祉士会には、三重県で開催されたイベントの事を伝えて、ああいった形で滋賀県でもできないかという打診をした。あの程度まで積み上げた形ではできないかもしれないが、いくつかの題材あるいはテーマを決めた形での進行は可能ではないかという話があった。
- 3月に理事会があるので、そこでもう一度諮りたいと思っている。
- 番組についても3月の理事会で話して、どういったものが良いかや人にスポットを当てる組み立てができるのかを考えたい。

【部会長】

- 滋老協については、資料では表彰式に入っているが、会員施設が当日に足を運ぶ部分や、イベントの趣旨からして一団体の表彰式をこの場でして良いものかどうかについて、疑問もあるので現時点では難しいと考えている。
- 別の提案としては、社会福祉法人の施設が集まる団体として地域で重要な役割を担っており、例えば、子ども食堂やサロン支援、引きこもり防止のためのカフェ、管理栄養士の料理教室、福祉避難所など地域の公益的な取組を行っているので、何らかの発信できればと考えている。そうした取組の内のどれかを、イベント当日にできるものがあれば良いと考えている。
- 介護そのものの発信も良いが、他の団体でも様々な取組が行われているので、そういった中で

は地域づくりやまちづくりにも参画している部分を一般の方にも伝えていければと考えている。

○本会は今月末に理事会があり、来月は総会があるので、その中で具体化していきたいと思っている。

【副会長】

○老健協は、理事会がまだ開催されていないので話し合いまではできていないが、来月に各施設が集まる機会があるのでそこで打診したい。

○個人的に考えているのは、他職種が働いているという特長を使えないかというのが一つ。栄養士部会が昨年度に施設や在宅で使えるメニューリストを作成したので、その実演など。また、人が集まるにはやはりビンゴゲームもどうかと考えている。

【委員】

○老健の他職種がそれぞれ部会を持っていてそれを使うという観点で、介護のお悩み相談のようなブースもあったら良いと思う。セントラルコート制限の中での実施は難しいかなとも思うが、実演の部分と相談の部分は分けても良い。

○オリンピック直後の開催なので、ポッチャなどもあると良いと思う。

【委員】

○ゲーム性のあるものが面白いと思う。

○パラリンピックもあるので、バスケットやラグビーで使う車いすをコースに沿って試乗してもらうことも良いと思う。

【部会長】

○普通の福祉イベントだと集客が難しいという話が部会でも出ていたが、そのあたりを打破するようなアイデアも加えて行ければと思う。

【委員】

○ケアマネ協としては、介護の魅力発信の中ではキャリアパスのところに繋がるのではと考えていたので、そこを発信するために就職相談のところに配置していただいている。

○その他、先ほど言われていたお悩み相談のような、介護保険の使い方や介護に関する情報のお話なら本会でもできると事務局に伝えたところ。

【委員】

○ケアマネの仕事の主が他職種を繋ぐことであるため、介護する方がひとりで背負うのではなくて、様々なネットワークを使ってチームでやっていくということを、ケアマネの立場から伝えられたらと思う。

【委員】

○社会福祉士会では、専門職種でもあるので資格相談や何でも相談あたりになるのではと話していた。社会福祉士は難しく堅苦しいイメージがあるので、相談ブースを設置してもイメージ

を変えるにはどうなのかなと思う。相談ブースを作るのであれば、ケアマネ協、社会福祉士会それぞれではなく、まとめてひとつのブースを作って対応できる専門職が応じていく形の方が良いのではと思うが、やはり堅い。

【委員】

○イオンホールに他の相談ブースがある中で、普段の就職フェアのブースを設置するのは物理的にも難しいと思うので、やり方は詰める必要があると話している。

【事務局】

○相談ブースは、様々な切り口から相談できるような形にしていれば良いのではと思う。
○イオンホールなのかわからないが、人材に対する相談支援を行うのと同時に、一般の方に対するブースも考えられたらと思っている。

【副部長】

○映画の上映は三重県のようにサービス付きで考えているのか。
○スタンプラリーもあるか。

【事務局】

○サービス付きの方が良いと考えている。
○各ブースを回っていただけるような仕掛けも必要と考えていて、その中でLINEの登録推進も含めたい。

【部長】

○いろいろな方に応えられる相談ブースについての話をいただいた。場所はそのあたりを踏まえて事務局で検討願いたい。
○分担を決めきれないところもあるが、次回でさらに明確にしていけばよいか。

【事務局】

○本日で最低限必要なレンタルスペースはわかったので、会場の手配を進めたい。
○なお、現在は、介護の内容に直結するものを決めていただいているが、イベント全体の運営として、介護関連に関わらず集客ための催しも加えていくつもりである。

●マスメディア関連

【副部長】

○ストーリーは皆さんお持ちだと思うので、アニメ化できないかと思っているが可能か。
○デザイン関係の学校や学生に協力得られないか。

【事務局】

○アニメにすると、何も無いところから台本やキャラクターを作って、それを動かして、音や声を入れてということになるので、多額の経費が必要なようである。

○学校や学生の協力についてはわからない。

【委員】

○意外と協力的な先生は多いようである。ひとつの勉強として関わってくれるところもある。デザインの際は福祉を目指す学生もいて、インターンシップにも参加している。

【部会長】

○ここで委員が来られたので、イベントでのファッションショーについて伺えるか。

【委員】

○料金が多額なようなので、料金の交渉によるところがあると連合会では話している。
○インターンシップについて、建築のアイデアを出してもらうために募集したら、ブースに人が集まった。そういう意味では、面白いインターンシップをしているところは集められるかもしれないと思っていた。

【委員】

○テレビ番組の出演について、公募した時にたくさん出てきたらどうするかというのがある。選定するのが難しい面もあるし、かといって一本釣りが良いのか。

【委員】

○毎朝のテレビ番組で、企業にいる特長のあるひとを紹介しているが、人の魅力を感じられて良いと思っている。アニメも良いということだが、二次元よりも魅力のある人に出会えることを想像させるのもひとつかなと思う。介護の本質プラスアルファで人の魅力を伝えられたら。

【事務局】

○魅力のある人は一本釣りでも良いが、他の事業所から本人を推薦していただく形で募るのが良いのではないかと。

【部会長】

○テレビ番組の出演について、団体にいずれかのテーマを依頼するということだが、結局は一事業所または一職員が選ばれるということになるので、バランスも取れるように全体として選定したほうが良いのではという話もあるが、いかがか。

【事務局】

○想定の中にあっただのは、事業者協議会の各地域協議会からテーマに沿ってそれぞれ推薦いただき、最終的に事務局で選定させていただく形。

【部会長】

○団体としては、どういう基準で選定するかなど、決定することが難しい面があることから、県を通じて決定するほうが後々の問題も生じないのではないかと。

【委員】

- 例えば、地域協議会で特養が選ばれると滋老協と被ってしまう。新人職員のテーマでいうと、新卒採用している事業所に限られてしまうので、連合会で担当するなら特養を選びがちと思う。
- 逆にこのテーマを民間で選んでくれ等と絞ってもらったほうが団体に持ち帰ったときに選びやすい。

【部会長】

- 団体に依頼しても重なりや偏りの部分があるので、そこを修正できる形が必要。

【発言者混在】

- 事業者協議会に老健は少ない。
- もっと包括的に掘りこんでいく方法があれば。
- 最終的に県が整理したら、どこからでも出せば良いのでは。
- 基準がわからない。
- 各団体がある程度集めてきて、県が選んだらどうか。

【事務局】

- その場合なら、推薦理由等を伺う形になると思う。

【部会長】

- 5月からマスメディアの業者と打ち合わせしていくので、その時点で選定されているスケジュールになるが、選定方法についていろんなご意見が出ていることをみると今回で決めるのは難しいので、次回の部会で推薦方法をきちっと決めたほうが良いと思う。
- 問題点も出していただいたので、それを踏まえて皆様も持ち帰っていただいて、いかがか。

【事務局】

- ご意見伺っていると、テーマごとに担当する団体を決めるのではなく、各団体が全てのテーマについて選出していただき、最終的にバランスをみて県が選定する形の方が良いか。
- 分担については初めて見ていただいたので、次回までに具体的な推薦方法を各団体でご検討いただきたいと思う。
- 特に人選については当方では情報が無いので、そこは皆様のお力を借りたい。

【事務局】

- テーマの2介護福祉士会、6ケアマネ協、9社会福祉士会は固定で良いと思うが、例えば、他の団体に残りのテーマをそれぞれ出していただくのはどうか。事業者協議会連合会なら、滋老協と老健協は別途出していただくので、そこを除いた事業所で出していただくのもひとつと思う。

3. その他について

【委員】

○イベントに企業の協賛を募ってはどうか。福祉関連でもいいし、物販関係もいいと思うので、それについても考えていただいて次回で話を出していただけたらと思う。

以上